EVIDEN

Identity Governance and Administration

ビジネスを強化し、すべてのアプリケーションへの安全なアクセスを実現

適切な人だけが必要な権限を持ち、適切なビジネス上の理由で適切な タイミングに適切なリソースにアクセスすることをどのように確保するか？

業務に沿ったプロセスを使用して業務部門の関与を促し、規制の遵守、リスクの管理および軽減をどのように実現するか？

SalesForce、Google Apps、Microsoft Office 365などのクラウドアプリケーションの使用コストを管理しながら、

どのようにアクセスを保護できるか？

上記のポイントは、現在企業が直面している課題の一部です。

EvidianのIdentity Governance and Administration（Evidian IGA）の採用によりこれらの課題に対応することができます。

Evidian Identity Governance and Administration により

- 複数の拠点または組織にわたってデジタルユーザーIDを整理および統合
- 一元化されたポリシー内でのアクセス権の割り当ての自動プロセスと手動プロセスを合理化
- アクセス・ポリシーの効果的な実装とアプリケーションの継続的な監視を自動化
- 規制遵守を確保するために必要なダッシュボードとレポートを提供

中規模から大規模の組織向けに設計されたEvidian IGAは、最新のID＆アクセスのライフサイクル管理プロセスと、運用上のリスクを軽減し、コンプライアンス要件を満たすために設計されたIDおよびリスク管理ガバナンスツールを提供します。エンドユーザーはウェブポータルを通じて、権限の申請などを含めた自分のIDに関連したすべてのアクションにアクセスできます。また、マネージャーなどの管理者は自身が管理するメンバーのIDに関連したすべてのアクションにもアクセスできます。

デジタルIDの管理

既存のアイデンティティ・ソース（人事、購買など）から、またはシンプルなツールを使用し手動で、従業員、サプライヤ、パートナーなどのあらゆるユーザーのデジタル・アイデンティティを統一および統合できます。

アクセスポリシーの合理化

役割に基づいて自動的に、または階層的な承認を含めて手動で、情報システムにアクセスする権限を割り当てるプロセスを定義および実装できます。

実装の保証

アクセスポリシーに従って、ITリソース上に直接アカウントを作成または削除、およびアカウントに権限を付与または削除することができます。必要なポリシーとアプリケーションの有効な権限の違いを検出して調整するための継続的な制御を実装できます。

コンプライアンスの促進

現在のユーザーが情報システムで所有しているアクセス権をすばやく一覧表示することができます。すべてのユーザーのITリソースアクセス権のレポートを簡単に取得できます。

［ゼロトラスト］貴社のユーザーは、アプリケーションにアクセスするために必要な認定を取得していますか？

医療、防衛、金融など、多くの組織では、アプリケーションへのアクセスはユーザーのビジネス・プロファイルだけでなく、認定レベルにもかかっています。一定レベルの認定（トレーニング、認定、憲章への署名）は、現在の法令、保険、会社の定款などに準拠する必要がある場合があります。

監査中には、コンプライアンス報告書も要求される場合があります。

これらの要件を満たすために、Evidian IGAは、権限を割り当てるときに、ユーザーが必要なレベルの認定を受けていることを確認します。また、この機能を使用すると、時間の経過に伴う認定レベルの変化（認定を取得したときに権利の付与、または認定の有効期限が切れたときに権利の取り消し）を考慮に入れることができます。

IGAのビジネス指向および使いやすさ

ID管理の容易化

Evidian IGAを使用すると、複数のソースからの既存のアイデンティティ（複数の拠点または子会社の人事システムおよび仕入先データベース）を1つのビューで表示できます。この統合ビューによって、デジタルユーザーIDの管理の一元化および合理化することができます。

アクセスガバナンスの実装

アクセス権は、組織内のロールに応じて自動的に割り当てられます。

アクセス要求は、制御された承認プロセスにより管理されます。これら2つの動作モードのネイティブ統合により、アクセス権管理ポリシーの一貫性が保証されます。ユーザー権限再認定キャンペーン機能を使用すると、マネージャーは、ユーザー、組織、および1つまたは複数のアプリケーションのさまざまなエントリポイントに従い、ユーザーの権限を確認および検証できます。

コンプライアンス・プロセスの合理化

Enterprise SSOやWeb Access Managerなどのユーザー・アクセス・サービスとの相互運用性により、情報システムに存在する権限のインベントリが迅速化されます。

それにより、監査イベントは1つのデータベースに統合されるため、カスタムコンプライアンスレポートを簡単に作成できます。

生産性の向上

新規ユーザーは、自分の仕事に必要な権限をより迅速に取得できます。人事異動の場合でも、プロファイルが自動的に調整されます。そしてそのユーザーはウェブポータルを通じて追加の権限をリクエストできます。

ユーザー・アクセスの保護

Evidian IGAは、ユーザーがITシステムにアクセスするためのパスワードを定義するユーザーアクティベーションプロセスを提供し、セキュリティと精度を向上させます。

クラウドアプリケーションの最適化された管理

Evidian IGAをWeb Access Managerと組み合わせることで、SalesForce、Google Apps、Microsoft Office 365などのクラウドアプリケーションの導入を簡単に管理できます。

アカウントは、ユーザーが初めてクラウドアプリケーションにアクセスしたときに作成されるので、コストが最適化され、デプロイが容易になります。

ビジネス指向

Evidian IGAでは、エンドユーザー、ビジネスマネージャー、およびセキュリティ担当者が協力して、アクセスガバナンスを実施します。管理コンソールは、ITおよび情報セキュリティ担当者に、使用されている既存のアクセスポリシーとアクセス権の「コントロールタワー」を提供します。

グローバル化の促進

Evidian IGAでは、複数の拠点または子会社のアクセスポリシーが統合できます。ネイティブの多言語サポートと段階的な拡張機能により、国際組織への導入が可能です。

特権アクセス管理ツールおよびヘルプデスクのサポート

弊社はお客様がエコシステムに簡単に統合する必要 があるソリューションを期待していることを認識し 特権アカウントの管理を行うCyberArkやWallixまたはITサービスサポートの管理（ITSSM）を行うServiceNowのような主要な市場プレーヤーと連携しEvidian IGAによる高レベルの統合を実現します。また、お客様の環境に簡単に統合できるようにREST APIを付属しています。

導入コストの管理

Evidian IGAは既存のIDディレクトリを使用し、特定のインフラストラクチャを必要としないため、組織内の既存の投資を回収することができます。ネイティブに統合されているため、導入時間とコストを大幅に削減できます。

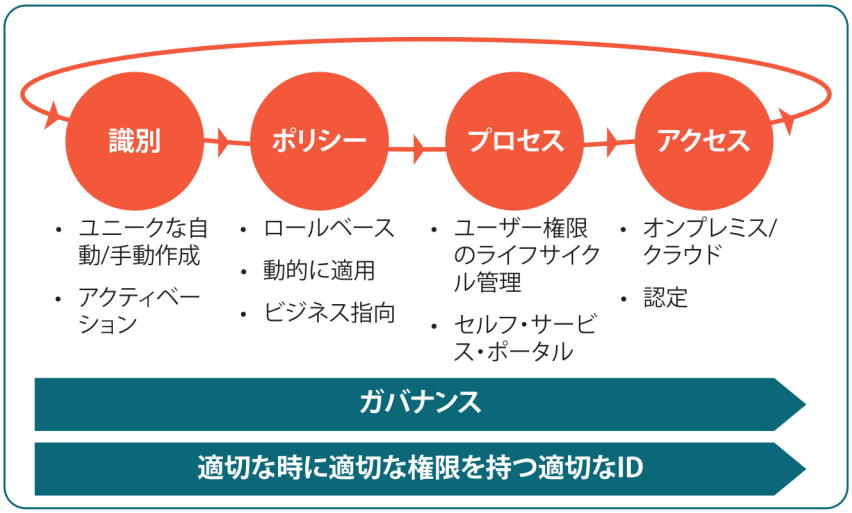
総所有コストの削減

Evidian IGAは、定義されたセキュリティポリシーを使用して、ワークフロー自体を変更せずにワークフロービジネスプロセスを適応させ、ソリューションのTCOを削減します。

GDPRの* 前提条件

IDとアクセスのガバナンスは、データ保護に関連するリスクを軽減するためのさまざまな技術的対策の1つです。Evidian IGAは、監査および再認定キャンペーン機能に加えて、ユーザーの権利に関する要件にも対応します。専用の個人データレポートとセルフサービス機能により、ユーザーは自由に権利を行使し、GDPRに準拠したプロセスを実現できます。

＊EU一般データ保護規則



詳しくはこちら evidian.com/ja/

【問い合わせ先】
EVIDIAN-BULL JAPAN 株式会社
東京都港区虎ノ門1-2-20 第三虎ノ門電気ビル
Tel : 03-5456-7691

Eviden is a registered trademark © Copyright 2023, Eviden SAS – All rights reserved.